

新任薬剤師研修会を終えて

霞ヶ浦医療センター 坂田 秀

出身大学：東京薬科大学（2024年）

今年度より霞ヶ浦医療センターに配属となりました、坂田秀と申します。入職してから、先輩薬剤師の皆さんに業務の流れを教わり、調剤業務、病棟業務、化学療法の調製、6月からは遅番やオンコール、土日の日勤も携わるようになりました。携わる業務が増えていくごとに、分からないことが出てきて、自分の知識不足を日々痛感しています。

今回参加させていただきました第27回新任薬剤師研修会では、医療安全をテーマに講演およびグループ研修が行われました。

医療安全の講義については、具体的な医療過誤やそれによって起きた裁判事例をもとに、どのような状況がこのようなアクシデント引き起こしたのかというに関してお話をしていただきました。特に私が注目した内容としては「チームの心理的安全性」というものでした。これは「チームの中で対人リスクをとっても大丈夫だ、というチームメンバーに共有される信念」と定義されており、これが確保されていない職場であるとインシデント報告をしない職員が13%存在するという話でした。このように心理的安全性が担保されていなければ、インシデントが報告されず対策がなされなままになり、これがのちに重大なアクシデントにつながる可能性があるということを学びました。このような文化づくりを薬剤部だけでなく、病院全体に広げていくことが患者さんの安全だけでなく、医療者の安全にもつながると思いました。

グループ研修については、医療の成果と患者の安全を高めるチーム戦略と方法である「Team STEPS」を用いてグループワークを行いました。内容としてはリーダーシップ、状況モニター、相互支援、コミュニケーションの「Team STEPS」の中心となるこの4点について、これらの要素を活かす方法を講義していただき、実際にグループワークを行って実践してみました。特に、疑義照会を設定に沿って行うというグループワークにおいては、医師役が処方の変更について消極的であるという背景がある中で、どのように医師に対して処方変更を行ってもらおうかということを実践しました。重要なこととして、現状の処方についてどこに不備があるか具体的に説明すること、代替案の提案を簡潔かつ具体的にすることだと私は思いました。

今回の研修を通して、医療安全やそのためのチームワークスキルを学ぶことができ、とても充実したものとなりました。また、研修後の懇親会では異なる病院にいる同期たちと様々な情報を交換でき、とても有意義なものでありました。

最後になりますが、本研修を開催してくださった先生方、日頃から温かくご指導いただいております霞ヶ浦医療センターの先生方にこの場をお借りして御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。